

第 30 回日本小切開・鏡視外科学会

The 30th Congress of Lift Endoscopy & Minimal Incision Surgery

【テーマ】

内視鏡下手術の多様性：小切開・鏡視外科手術の復権と展望

会 長：古谷 健一（防衛医科大学校産科婦人科学講座教授・病院副院長）

会 期：2017 年 6 月 2 日(金)・3 日(土)

会 場：ベルサール神保町
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-2-1
住友不動産千代田ファーストビル南館 2 階

事 務 局：防衛医科大学校産科婦人科学講座
〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-2
TEL: 04-2995-1687 / FAX: 04-2996-5213

運営事務局：一般社団法人アカデミアサポート内
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-920
TEL: 03-5312-7686 / FAX: 03-5312-7687
E-mail: lemis30@academiasupport.org

ホームページ：<http://www.academiasupport.org/lemis30.html>

会 長 挨拶



第 30 回日本小切開・鏡視外科学会会長

古谷 健一

(防衛医科大学校産科婦人科学講座教授・病院副院長)

この度、平成 29 年（2017 年）6 月 2 日（金）・3 日（土）に第 30 回日本小切開・鏡視外科学会を担当させて頂くことになり、大変光栄に存じます。

本会は、平成 21 年 5 月にお互い連携を取りながら長く活動してきた「吊り上げ法手術研究会」と「ミニラパ研究会」が統合する形で特定非営利活動法人として設立された学術団体であります。

設立の主旨は、名称の「小切開・鏡視外科学会（Lift Endoscopy & Minimal Incision Surgery: LEMIS）」が示すように、「開腹手術で確立された安全性をいささかも損なわない内視鏡下手術の確立と研究および普及」であり、時に小切開創を十分に活用することで、従来の手術器具やアプローチを生かした内視鏡下手術が可能となるだけではなく、安全性のみならず経済性の面でも優れた手術を構築できるのではないかと考えております。

一般に、腹腔鏡下手術は「低侵襲性手術」と称されていますが、全身麻酔下の術野確保では腹腔内に CO₂ ガスを注入し、気密性の高い環境（気腹法）で手術を行なうことから、時に気体塞栓・皮下気腫の発生や微細な出血の見落とし、麻酔面では腹腔内圧の上昇に伴う静脈還流への影響、さらには出血時の急速吸引操作による術野確保の困難など、一度トラブルが発生すると通常の開腹手術よりも問題点が顕著となり、必ずしも「低侵襲」とは言えない側面も指摘されております。こうした内視鏡下手術の「負の側面」をできるだけ小さくする試みの一つが、本学会がこれまで取り組み、普及に努めてきた「吊り上げ・小切開利用を併用した内視鏡下手術」であります。幸いにも、こうしたコンセプトは外科領域（消化器・呼吸器・内分泌・小児外科など）のみならず、産婦人科や泌尿器科等にも広く理解が進んでいると感じております。

今回は、「吊り上げ法手術研究会」が発足して通算 30 回という記念開催であることから、基調講演として長年にわたり本会代表を務めてこられた橋本大定先生に本会の沿革と今後の展望につきましてご講演頂くことになりました。教育講演は、臨床解剖学として新知見を発表してこられた国立がん研究センター中央病院婦人科腫瘍科長の加藤友康先生に骨盤解剖学と神経温存術式についてのご講演を予定しています。また 2020 年東京オリンピック・パラリンピックでは、身体障害者の方々の方々の活躍も期待されておりますが、その方々への安全な手術に関しては特別な配慮が求められており、特別講演として国立障害者リハビリテーションセンター病院第一診療部長の大熊雄祐先生にその領域についてのお話を頂きます。

さらに、第 30 回学会の記念講演として、肝臓外科学および生体肝移植において世界的にご高名であられる幕内雅敏先生（東京大学名誉教授、日本赤十字社医療センター名誉院長、東和病院院長）に「肝切除と生体肝移植」のテーマで貴重なご講演を賜ることになり、会員一同大変光栄に思っております。一方、進歩が著しい内視鏡下手術の高解像度モニター技術では、最近究極的な超高画質の 8K 画像システムが開発されています。今回記念講演として開発者のお一人である山下紘正先生に、実際のパネルとともに 8K 画像の臨床応用についてのご講演を予定しております。

ここに、今回の学会開催の主旨とプログラムの概要をご紹介申し上げます。これまで本邦で発展してきた内視鏡下手術ではありますが、すべての方に画一的な手法で実施することが必ずしも適当であるとは限らず、患者さんに合わせた柔軟な対応と安全性を踏まえることが何より大切と感じております。そうした意味で、本学会の活動と存在意義は非常に重要であると考えており、今回学会のテーマを「内視鏡下手術の多様性：小切開・鏡視外科手術の復権と展望」とさせて頂きました。そして、本学会におけるご発表と活発なご討論が、少しでも参加された先生方のお役に立つことができれば大変嬉しく存じます。結びに、先生方の温かいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017 年 5 月吉日

参加者へのご案内

1) 参加受付

日 時：2017年6月2日（金）10:00～17:30

2017年6月3日（土） 8:10～14:30

場 所：ベルサール神保町2階 ロビー

参加費：10,000円

・参加費を納め、参加証をお受け取りください。

2) 会場

【講演】

日 時：2017年6月2日（金）11:25～17:30

2017年6月3日（土） 9:10～15:00

場 所：ベルサール神保町2階 Room BC

【理事会】

日 時：2017年6月2日（金）10:30～11:15

場 所：ベルサール神保町2階 Room A

【評議員会・総会】

日 時：2017年6月3日（土） 8:30～9:00

場 所：ベルサール神保町2階 Room BC

【情報交換会】

日 時：2017年6月2日（金）17:40～19:00

場 所：ベルサール神保町2階 Room A

【企業展示】

日 時：2017年6月2日（金）11:30～17:30

2017年6月3日（土） 9:00～15:00

場 所：ベルサール神保町2階 Room A

3) クールビズのご案内

本会ではクールビズを実践致します。上着・ネクタイは着用せず、カジュアルな服装での参加を歓迎致します。

4) 小切開・鏡視外科学会への入会に関するお問い合わせ

下記学会ホームページの「入会案内」をご参照ください。

【NPO 法人小切開・鏡視外科学会ホームページ：<http://lemis.umin.jp>】

5) 第 30 回日本小切開・鏡視外科学会に関するお問い合わせ

【第 30 回日本小切開・鏡視外科学会 事務局】

防衛医科大学校産科婦人科学講座

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL: 04-2995-1687 / FAX: 04-2996-5213

【第 30 回日本小切開・鏡視外科学会 運営事務局】

一般社団法人アカデミアサポート内

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-920

TEL: 03-5312-7686 / FAX: 03-5312-7687

E-mail: lemis30@academiasupport.org

6) 第 30 回日本小切開・鏡視外科学会ホームページ

URL: <http://www.academiasupport.org/lemis30.html>

7) 各種研修証明・ポイントのご案内

参加者の皆様に、当日以下を発行致します。

当日ご来場の際に、ポイント受付にてお手続きください。

日本医師会 生涯教育制度参加証

日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 研修出席証明 10 点

日本専門医機構 学術集会参加 3 単位

産婦人科領域講習 特別講演＋会長講演の受講で 1 単位(申請中)

教育講演＋記念講演 2 の受講で 1 単位(申請中)

日本産婦人科医会 研修参加証

8) 昼食について

1 日目、2 日目の両日お昼の時間帯に開催致します第 30 回開催記念講演にて、昼食を配布致します。講演開始前に、会場入口でスタッフより昼食をお受け取りください。

座長・演者の先生方へ

座長の先生方へ

- ・座長受付はございません。ご担当セッション開始 10 分前迄に、会場内の次座長席へご着席ください。

演者の先生方へ

- ・ご発表開始時間の 30 分前迄に、「PC 受付」にてデータ受付をお済ませください。
- ・ご発表開始時間の 10 分前迄に、会場内の次演者席へご着席ください。
- ・受付は Windows でのデータ持込みと致します。Macintosh をご希望の方や、動画をご使用の方は、ご自身の PC をご持参くださいますようお願い申し上げます。
- ・画像の解像度は、XGA(1024×768)にてご作成ください。
- ・記念講演、特別講演、基調講演、教育講演の発表時間は、質疑含めて合計 40 分です。
- ・セッション 1～8 の各演題の発表時間は、発表 7 分質疑 3 分 (合計 10 分)です。

〈発表データをお持込みの方〉

- ・会場にご用意致します PC は、Windows 7 です。
- ・アプリケーションソフトは、Microsoft PowerPoint (2007～2016)をご利用頂けます。
- ・発表データは、USB フラッシュメモリにてご用意ください。
- ・Microsoft PowerPoint に標準搭載されているフォントのうち、MS 明朝・MS ゴシック・Century・Times・Arial・Symbol のみが使用可能です。その他のフォントをご使用の場合は、ご自身の PC をご持参くださいますようお願い申し上げます。

〈PC をご持参の方〉

- ・会場で使用する PC ケーブルコネクタの形状は、MiniD-sub15pin です。この形状に変換するコネクタを必要とされる場合には、必ずご自身でご持参ください。
- ・スクリーンセーバーならびに省電力設定は、予め解除してください。
- ・起動時のパスワード等を設定している場合は、予め解除してください。
- ・受付にご持参頂いた PC は、そのままデータ受付にてお預かりし、ご発表後にデータ受付にてご返却致します。

会場へのアクセス

ベルサール神保町

〒101-0065

東京都千代田区西神田 3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館 2階

TEL : 03-3263-9621

http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_jimbocho/access.html



○交通案内

東京メトロ東西線「九段下駅」7番出口徒歩3分

東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」5番出口徒歩4分

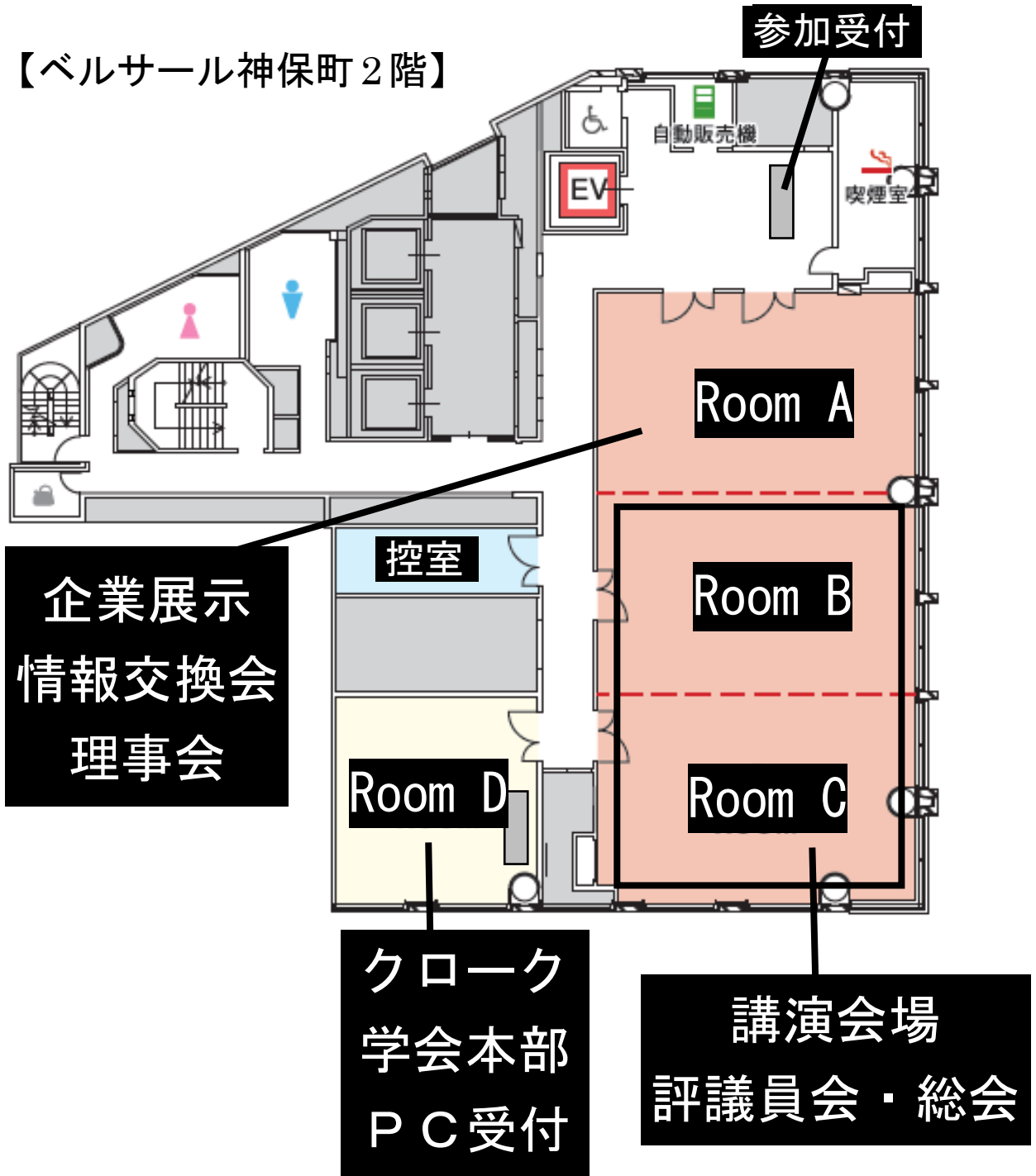
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」A2出口徒歩5分

都営三田線「水道橋駅」A2出口徒歩11分

JR 総武線「水道橋駅」西口出口徒歩8分

会場案内図

【ベルサール神保町2階】



第 30 回日本小切開・鏡視外科学会 日程表

1 日目・2017 年 6 月 2 日 (金) 講演会場：Room BC	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	10:30～11:15 理事会 (Room A)
12:00	11:25～11:30 開会式 11:30～12:20 セッション 1【婦人科領域】 座長：明樂重夫・伊熊健一郎
13:00	12:30～13:10 第 30 回開催記念講演 1 【肝切除と生体肝移植の進歩】 演者：幕内雅敏・座長：橋本大定
14:00	13:20～14:10 セッション 2【婦人科・泌尿器科領域】 座長：長井辰哉・畑瀬哲郎 14:10～14:40 セッション 3【小児外科領域】 座長：伊東宏絵・別宮好文
15:00	14:40～15:20 基調講演【小切開・鏡視外科学会 ～30 年の沿革と将来展望～】 演者：橋本大定・座長：永井秀雄
16:00	15:30～16:30 セッション 4【消化器外科領域】 座長：赤木由人・星野高伸
17:00	16:30～17:30 セッション 5【呼吸器外科領域①】 座長：岩崎正之・塩野裕之
18:00	17:40～19:00 情報交換会 (Room A)

2 日目・2017 年 6 月 3 日 (土) 講演会場：Room BC	
8:00	
9:00	8:30～9:00 評議員会・総会
10:00	9:10～10:10 セッション 6【肝胆膵外科領域】 座長：木村理・倉内宣明
11:00	10:10～10:50 特別講演【脊髄損傷患者の手術治療： 病態および注意点と管理法】 演者：大熊雄祐・座長：漆原貴
12:00	11:00～11:30 会長講演【米国における救急外傷治療の経験】 演者：古谷健一・座長：大熊雄祐 11:30～12:10 教育講演【女性骨盤解剖学における新たな視点】 演者：加藤友康・座長：井坂恵一
13:00	12:20～13:00 第 30 回開催記念講演 2【8K 超高解像度内視鏡 システムによる臨床応用の可能性検討】 演者：山下紘正・座長：古谷健一
14:00	13:10～14:10 セッション 7【乳腺・内分泌外科領域】 座長：中原雅浩・山下浩二 14:10～14:50 セッション 8【呼吸器外科領域②】 座長：加賀基知三・水上泰
	14:50～15:00 閉会式

* 第 30 回開催記念講演の際に両日昼食を配布致します。

第 30 回日本小切開・鏡視外科学会 プログラム

6月2日(金)

11:25～11:30

開会式

11:30～12:20

セッション 1【婦人科領域】

座長 明樂重夫（日本医科大学女性診療科・産科）

伊熊健一郎（淀川キリスト教病院産婦人科）

1-1 当科で施行している腰椎麻酔下吊り上げ腹腔鏡手術に関して

大阪赤十字病院産婦人科

岩見州一郎、徳重悠、川田悦子、中川江里子、野々垣多加史

1-2 卵巣嚢腫合併妊娠に対する腹腔鏡補助下手術の検討

日本医科大学産婦人科

可世木華子、明樂重夫、納富継人、白石達典、寺田展子、白井有香、渡邊建一郎、小野修一、峯克也、市川雅男、竹下俊行

1-3 我々の行う小切開を加えた腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術

独立行政法人地域医療機能推進機構久留米総合病院

畑瀬哲郎、園田豪之介、稗田太郎

1-4 最適アプローチ法を諦めずに時間短縮が可能であったハイブリッド内視鏡手術の 1 例

¹荒木記念東京リバーサイド病院産婦人科、²日本医科大学付属病院産婦人科

田中智子¹、小迫優子¹、中村祐介¹、小松由佳¹、星真一¹、星野裕子¹、植田道朗¹、岡本哲¹、荒木勤¹、明樂重夫²

1-5 卵巣嚢腫内容液の腹腔内漏出を防ぐ工夫

公立那賀病院産婦人科

吉村康平、西丈則、帽子英二

12:30～13:10

第 30 回開催記念講演 1【肝切除と生体肝移植の進歩】

演者 幕内雅敏（医療法人社団大坪会東和病院）

座長 橋本大定（佐野市民病院）

13:20～14:10

セッション2【婦人科・泌尿器科領域】

座長 長井辰哉（豊橋市民病院泌尿器科）

畑瀬哲郎（独立行政法人地域医療機能推進機構久留米総合病院産婦人科）

2-1 Hybrid Laparoscopic Hysterectomy 一経腔操作を避けた子宮全摘の方法一

淀川キリスト教病院産婦人科

伊熊健一郎、丸尾伸之

2-2 吊り上げ式による子宮体癌手術

東京医科大学産科婦人科学分野

伊東宏絵、佐川泰一、井坂恵一

2-3 風圧と、Soft 凝固を用いた背静脈群（DVC）、前立腺尖部処理法

豊橋市民病院泌尿器科

田中篤史、長井辰哉、寺島康浩、小嶋一平、内藤祐志

2-4 私の鏡視下生体ドナー腎採取術における新しい試み

県立広島病院消化器・乳腺・移植外科

漆原貴、札幌保宏、石本達郎、森本博司、難波洋介、梶原遼太郎、荒田了輔、大下航、徳本憲昭、大下彰彦、池田聡、真次康弘、中原英樹、板本敏行

2-5 泌尿器小切開手術の術後回復に ERAS がおよぼす効果:回復の質スコア(QoR-40J)による評価

恵寿総合病院泌尿器科

川村研二

14:10～14:40

セッション3【小児外科領域】

座長 伊東宏絵（東京医科大学産科婦人科学分野）

別宮好文（埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵外科・小児外科）

3-1 臍部アプローチにより診断・切除した腸管重複症の1例

埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵外科・小児外科

牟田裕紀、小高明雄、井上成一郎、北川大輝、別宮好文

3-2 腋窩皺切開による開胸手術の検討

茨城県立こども病院小児外科

矢内俊裕、東間未来、益子貴行、田中尚、相吉翼、吉田志帆、千葉史子

3-3 巨大な卵巣嚢胞性腫瘍に対する単孔式腹腔鏡補助下腫瘍核出術の工夫

茨城県立こども病院小児外科

矢内俊裕、益子貴行、東間未来、田中尚、相吉翼、吉田志帆、千葉史子

14:40～15:20

基調講演【小切開・鏡視外科学会 ～30年の沿革と将来展望～】

演者 橋本大定（佐野市民病院）

座長 永井秀雄（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター）

15:30～16:30

セッション4【消化器外科領域】

座長 赤木由人（久留米大学外科）

星野高伸（医療法人社団青洲会神立病院）

4-1 2孔式手術 1000例から得た手術操作の工夫

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター内視鏡センター婦人科
大隅大介、内田亜紀子、木村広幸、齋藤裕司

4-2 臍部 open method 小切開にて手術施行したクローン病症例の検討

兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科
蝶野晃弘、内野基、池内浩基

4-3 当科における Stomach Partitioning Gastrojejunostomy の現況

千葉大学大学院医学研究院先端応用外科
玉地智英、加野将之、坂田治人、阿久津泰典、羽成直之、上里昌也、早野康一、村上健太郎、高橋理彦、中野明、高橋有未子、澤田尚人、武藤靖英、米本昇平、林秀樹、松原久裕

4-4 若手外科医は TANKO と TAPP で腹腔鏡手術の基本を習得する

¹JA 尾道総合病院外科・内視鏡外科、²東広島医療センター外科
中原雅浩¹、奥田浩¹、竹元雄紀²、望月哲矢¹、武智瞳¹、別木智昭¹、吉川徹¹、矢野琢也¹、安部智之¹、藤國宣明¹、佐々田達成¹、山木実¹、天野尋暢¹、則行敏生¹

4-5 当院で施行している小切開±鏡視外科手術について

公立学校共済組合四国中央病院外科
石川正志、江藤祥平、田代善彦、松山和男、宮内隆行、大塩猛人

4-6 カメラ付きトロカールの開発と評価

¹千葉大学フロンティア医工学センター、²千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻、
³千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学
中口俊哉¹、アンベヒョン²、鈴木敏之²、高田知里²、林秀樹^{1,3}、加野将之³、羽成直行³、早野康一³、大平学³、宮内英聡³、松原久裕³

16:30～17:30

セッション5【呼吸器外科領域①】

座長 岩崎正之（東海大学医学部呼吸器外科）
塩野裕之（近畿大学医学部奈良病院呼吸器外科）

5-1 胸腔鏡下に切除した後縦隔発生ミューラー管嚢胞の一例

¹東海大学医学部附属八王子病院呼吸器外科、²東海大学医学部外科学系呼吸器外科学
中村雄介¹、武市悠¹、中川知己²、河野光智²、増田良太²、山田俊介¹、岩崎正之²

5-2 原発性肺癌に対する Needlescopic thoracic surgery -2mm 鉗子を用いた Single+Two 法-

神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器外科
田尻道彦、荒井宏雅、椎名王久、亀田洋平、新里稔

5-3 エコーや胸腔鏡を使用し、小切開にて切除し得た胸壁神経鞘腫の3例

東京女子医科大学外科学第一講座
光星翔太、松本卓子、片桐さやか、前田英之、坂本圭、井坂珠子、小山邦広、村杉雅秀、神崎正人

5-4 肺炎症性疾患に対する肺門部処理は小腋窩開胸併用で安全に施行できるか

¹社会医療法人生長会ベルランド総合病院呼吸器外科、²社会医療法人生長会府中病院外科
³大阪市立大学呼吸器外科
永野晃史^{1,2}、井上清俊¹、月岡卓馬³、宮本裕成²、宮本光¹、松田由美¹、西山典利³

5-5 肋骨弓下切開による摘出肺創外摘出法の工夫

北海道大学大学院医学研究科循環器・呼吸器外科
新垣雅人、加賀基知三、樋田泰浩、加藤達哉、久保田玲子、八木優樹、千葉龍平、松居喜郎

5-6 自動縫合器の新しい誘導器具～ティッシュトネラー～

東海大学医学部外科学系呼吸器外科学
大岩加奈、小野沢博登、壺井貴朗、和田篤史、生駒陽一郎、渡邊創、中野隆之、河野光智、増田良太、岩崎正之

6月3日(土)

9:10~10:10

セッション6【肝胆膵外科領域】

座長 木村理 (山形大学医学部第一外科)
倉内宣明 (JA 北海道厚生連倶知安厚生病院外科)

6-1 腹腔鏡下総胆管切石術における吊り上げ法と気腹法の比較

JA 北海道厚生連倶知安厚生病院外科
倉内宣明、徳渕浩

6-2 当院での reduced port laparoscopic cholecystectomy

聖マリアンナ医科大学病院消化器・一般外科
小野龍宣、小林慎二郎、瀬上航平、星野博之、片山真史、小泉哲、大坪毅人

6-3 自在回転傾斜内視鏡手術台の開発

¹佐野市民病院外科、²埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵・小児外科、³(株)竹内製作所
橋本大定¹、稲葉陽子、藤田麻依子、固武健二郎、上野規男、中沢祥子²、二宮理貴²、竹内秀幸³

6-4 腹壁全層自在吊り上げ鉤の開発

¹佐野市民病院外科、²埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵・小児外科、³(株)竹内製作所
橋本大定¹、稲葉陽子、藤田麻依子、固武健二郎、上野規男、中沢祥子²、二宮理貴²、竹内秀幸³

6-5 小切開・Hand-assist の利点を最大限に利用した鏡視下肝切除術

長崎大学大学院移植・消化器外科
曾山明彦、高槻光寿、日高匡章、足立智彦、大野慎一郎、原貴信、伊藤信一郎、山之内孝彰、金高賢悟、江口晋

6-6 早期胃癌機能温存根治手術と至適アプローチ —センチネルリンパ節生検からみた小切開併用の意義

金沢医科大学一般・消化器外科
木南伸一、大西敏雄、藤井頼孝、三浦聖子、藤田純、甲斐田大資、富田泰斗、藤田秀人、上田順彦、中野泰治、小坂健夫

10:10~10:50

特別講演【脊髄損傷患者の手術治療：病態および注意点と管理法】

演者 大熊雄祐 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)
座長 漆原貴 (県立広島病院消化器・乳腺・移植外科)

11:00~11:30

会長講演【米国における救急外傷治療の経験】

演者 古谷健一 (防衛医科大学校産科婦人科学講座)
座長 大熊雄祐 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)

11:30～12:10

教育講演【女性骨盤解剖学における新たな視点】

演者 加藤友康（国立がん研究センター中央病院婦人腫瘍科）

座長 井坂恵一（東京医科大学産科婦人科学分野）

12:20～13:00

第30回開催記念講演2【8K 超高解像度内視鏡システムによる臨床応用の可能性検討】

演者 山下紘正（カイロス株式会社）

座長 古谷健一（防衛医科大学校産科婦人科学講座）

13:10～14:10

セッション7【乳腺・内分泌外科領域】

座長 中原雅浩（JA 尾道総合病院外科・内視鏡外科）

山下浩二（山王病院乳腺外科）

7-1 内視鏡補助下甲状腺手術（VANS 法）の進化—補助下だからできる

岡山医療センター外科（乳腺甲状腺外科）

白井由行、秋山一郎、池谷七海、高橋達也、津高慎平、照田翔馬、国末浩範

7-2 胃癌における multichannel port(X-gate®)を用いた審査腹腔鏡の有用性

熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学

山下晃平、岩槻政晃、問端輔、古閑悠輝、黒田大介、清住雄希、日吉幸晴、馬場祥史、宮本裕士、吉田直矢、馬場秀夫

7-3 オムニトラクトを用いた腹膜外アプローチによる側方リンパ節郭清術

久留米大学外科学

弓削浩太郎、赤木由人、衣笠哲史、藤田文彦、合志健一

7-4 3D-CT 仮想内視鏡モードによる乳腺内視鏡手術の安全性向上

¹山王病院乳腺外科、²国際医療福祉大学乳腺外科、³日本医科大学乳腺外科

山下浩二^{1,2,3}

7-5 甲状腺視鏡下手術・保険収載の道のりと今後の展望

日本医科大学内分泌外科

五十嵐健人、岡村律子、清水一雄、赤須東樹、長岡竜太、眞田麻梨絵、杉谷巖

7-6 「小切開・鏡視外科」コンセプトで達成する万能型世界標準「甲状腺 HET（Tori 法）」

大阪警察病院内分泌外科¹、大阪警察病院心臓外科²

鳥正幸¹、吉留克英¹、下登志朗¹、安野佳奈¹、高橋俊樹²

14:10～14:50

セッション 8【呼吸器外科領域②】

座長 加賀基知三（北海道大学大学院医学研究科循環器・呼吸器外科学分野）
水上泰（北海道がんセンター呼吸器外科）

8-1 穿刺式前胸壁吊上げ（T-lifting method）用器具の開発経緯

近畿大学医学部奈良病院呼吸器外科
塩野裕之、楠本英則、櫻井禎子

8-2 当センターにおける安全な胸腔鏡手術

北海道がんセンター呼吸器外科
水上泰、上田宣仁、安達大史、有倉潤、近藤啓史

8-3 壁側胸膜側から胸腔内に有茎性に発生し増大傾向を示した脂肪腫の 1 例

¹大和市立病院呼吸器外科、²東海大学医学部外科学系呼吸器外科学
生駒陽一郎^{2,1}、渡邊創²、中野隆之²、大岩加奈²、中川知己²、河野光智²、増田良太²、岩崎正之²

8-4 乳児分離肺換気麻酔の危険性について

佐野市民病院
橋本大定

14:50～15:00

閉会式
